ふくしま農業女子ネットワーク

農女びより

▼31▲

ネットワークのロゴマーク

多くの人に愛される「いいたて雪っ娘」の成長を見守る渡辺さん

▶ふくしま農業女子ネットワーク（愛称：百笑一姫♡Fukuがぁる）

メンバーの思いや農作物、ネットワークの活動状況、イベント情報などをホームページで発信しています。参加メンバーや応援団となる企業・団体の応募も受け付けています。URLはhttps://www.fuku-girl.jp/

問い合わせは事務局県農業担い手課　電話024(521)7340へ。

飯舘の「雪っ娘」守る

渡辺（わたなべ）とみ子（こ）さん（福島市）

「いいたて雪っ娘」は白い薄皮と濃厚な甘味が特長の飯舘村オリジナル品種のカボチャです。この雪っ娘を村の特産品にしようと、品種開発者の菅野元一さんや仲間たちと共に長年取り組んできました。東日本大震災と東京電力福島第一原発事故後も、避難先の福島市の休耕田を借りて必死に種を守りつないできました。

故郷を失い改めて、飯舘村での生活が、いかにぜいたくであったかを思い知らされました。人は当たり前の生活に慣れてくると、不平不満を抱きがちです。どんなに厳しい環境でも芽を出し、精いっぱい命を全うしようとする作物の姿に、どれだけ励まされたでしょうか。決して諦めてはいけないと、私を奮い立たせてくれました。

昨年飯舘村は避難指示が解除となり、7年ぶりに村のわが家の畑に雪っ娘が戻ってきました。心配された放射性物質も問題なく、村内にできた道の駅「までい館」で販売もできました。昨年はイオンと共に福島市松川町の畑で雪っ娘を栽培し、県内のイオン5店舗で冬至の時期に店頭に並びました。購入した皆さんが、おいしさに感激してくれたそうで、今年も生産を続けています。

雪っ娘のファンクラブも結成されました。全国のファンの方々が畑で土作りから収穫作業まで関わるといったつながりが生まれています。プロの料理人たちが畑に足を運び、店で扱ってくれるケースもあります。雪っ娘は、たくさんのご縁をつなぐ「縁熟カボチャ」として成長してくれています。6次化商品開発にも取り組み、種類を増やしています。多くの方に愛される「娘」の成長を、これからも楽しみにしています。

◈プロフィル◈　福島市生まれ。結婚を機に飯舘村へ移り農業を始める。までい工房美彩恋人を立ち上げ、村特産のジャガイモ「イータテベーク」や「いいたて雪っ娘」の生産、販売、6次化商品開発に取り組む。震災後は福島市に移り、避難した女性を支援する「かーちゃんの力・プロジェクト」「いいたて雪っ娘かぼちゃプロジェクト」協議会長を務める。